

こ　こ　が　聞　き　た　い

一般質問

今定例会の一般質問は、19人の議員が登壇し、行政運営について市長及び教育委員長の考えを質しました。

質問、答弁の要旨を掲載します。（文責は質問議員）



経営改革が図られる総合水沢病院

質問 第2次奥州市行財政改革は平成23年度から27年度までの5年間として策定中であるが、重点的に取り組む事項は何か伺います。財政計画について財政状況見通しでは、平成26年度までは黒字を維持できるものの平成32年度の累積収支は107億円余の赤字となる見込みとなっています。行革によ



さとう いくお夫
佐藤 郁夫

○第2次奥州市行財政改革と財政計画について
○総合水沢病院の経営状況について

り不足額をカバーしなければなら
ないと思いますが、どのような見
通しか伺います。

市長 行財政改革の具体の実施計画では「健全な財政運営」を主眼とし、歳入では自主財源確保の観点から「市税、利用者負担金等の見直し」「収納率の向上」、歳出では「一般職の給与見直し」「職員数削減」「物件費・公債費・補助費の削減」「投資的経費の抑制」に努めて参ります。財政計画については、107億円をカバーするため行革プランの項目毎に数字を積み上げ、財政計画を策定し安定的な行政運営に努めて参ります。

質問 水沢病院の経営改革については平成21年3月「水沢病院経営改革プラン」が策定されました。この改革プランは最低でも収支均衡を命題としております。水沢病院の平成22年度決算見通しでは約2億円の赤字で改革プランと乖離があるがその理由は何か伺います。また、水沢病院について、例えば江刺病院との統合等抜本的に検討すべき時期にきていると思うが、検討委員会的な機関を設置する考えはないか伺います。

市長 経営改革プランとのかい離の主な理由は計画通り医師確保ができず収入減が主なる原因でござ

います。今後医師確保にむけ全力で取り組んでいきたいと考えております。水沢病院のあり方については、専門家の意見を聞きながら検討委員会的な機関を設置していきたいと考えております。

○協働のまちづくりについて
○社会教育と地区センター運営について



さとう かつお夫
佐藤 克夫

質問 協働のまちづくり推進にあたり、地区センターの課題にどのように取り組むか伺います。

市長 地域振興会はじめ地域の諸団体との協働により、一層質の高い行政サービスが可能となります。市民にとっても、主体的な地域活動によって地域自治の活性化をすすめることができます。地区センターの生活安全部・生涯学習部・地域福祉部等の活動が、町内会・自治会との連携が大事です。健全育成・高齢者の見守り・地域福祉等の活動を通して一体感の醸成がすすみます。市民の協議によって使途を考える「交付金」の活用による「協働」により、一層活力あるまちづくりの実践が期待できます。